

# 消費税率引上げ後の消費動向等 について（8月第2週）

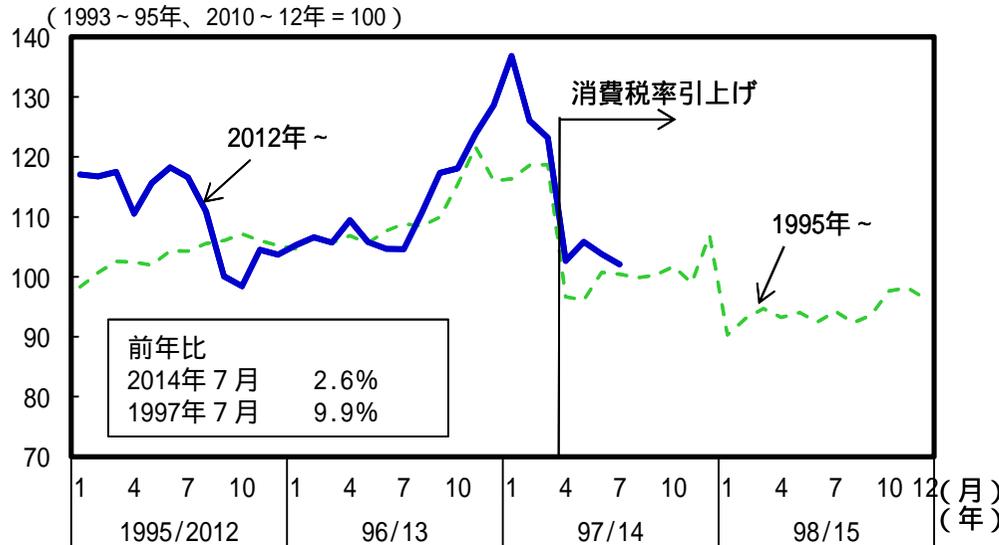
平成26年8月15日

内閣府

# 自動車・家電販売の動向

自動車販売（除軽、登録ベース）は、7月は前年比でマイナスとなった。

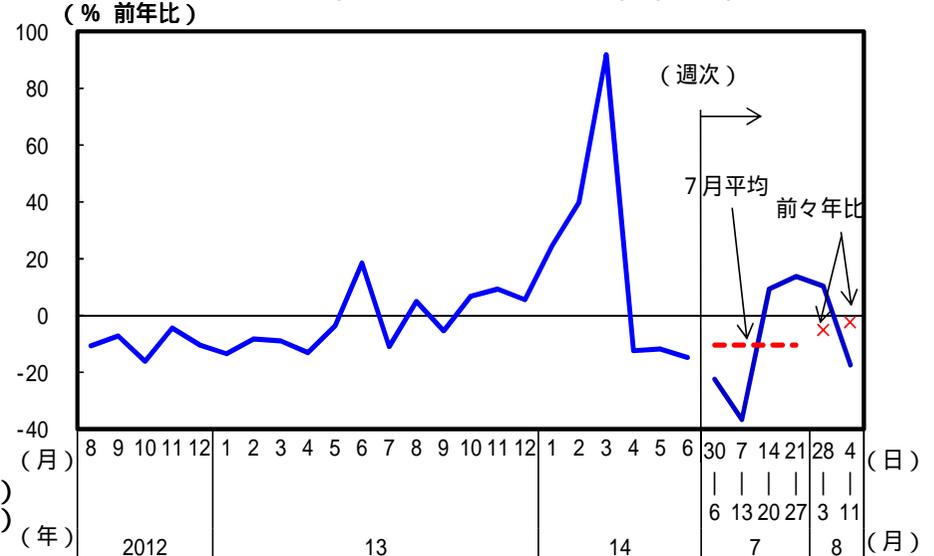
新車販売台数（含軽）



(備考) 1. 日本自動車販売協会連合会、全国軽自動車協会連合会により作成。  
2. 内閣府による季節調整値を指数化したもの。

主要5品目の家電販売は、8月第2週では、台風の影響によりエアコンを中心として前年比マイナスとなった。なお、前年の影響を排除するため前々年と比較すると、引き続き小幅なマイナスとなっている。

家電販売金額（家電量販店主要5品目）（税抜）



(備考) GfKジャパン（全国の有力家電量販店販売実績を調査・集計）により作成。テレビ、エアコン、冷蔵庫、パソコン、携帯電話の5品目の合計。

自動車販売台数（除軽、登録ベース）は、8月第2週は、前年比で小幅にマイナスとなった。受注が弱いことや目立った新型車がないことから、8月も横ばいの状況が続くとみられる。今後は、秋以降に予定されている新型車投入の効果に期待したい。 【業界団体 A】

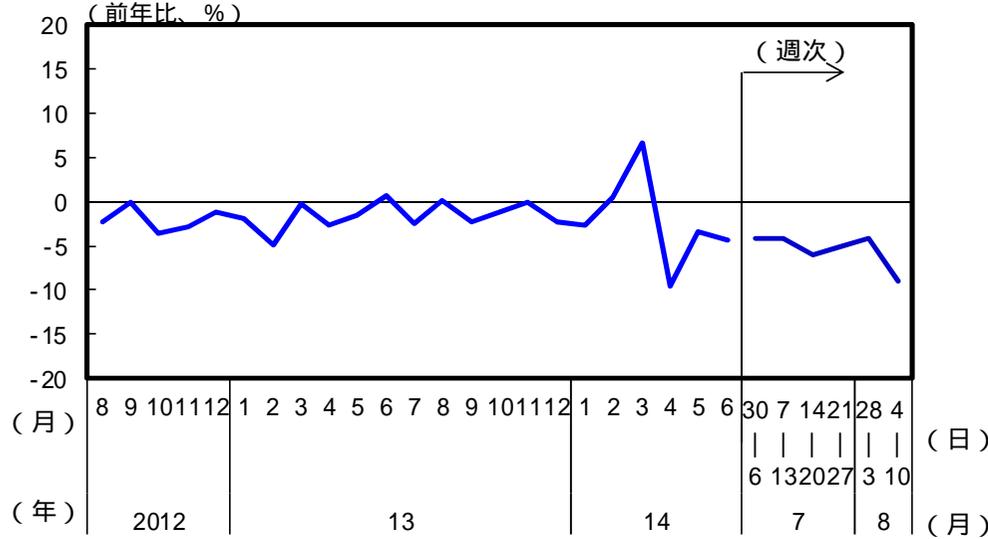
軽自動車販売台数（届出ベース）は、8月第2週は、7月に引き続き前年比でマイナスとなっている。7月以降軽自動車が厳しい要因としては、消費税率引上げの影響に加え、昨年7月以降に新型車が好調であったことの反動もあると考えられる。 【業界団体 B】

8月第2週は、台風の影響などでエアコンや扇風機といった夏物家電が前年比で大きくマイナスに寄与し、全体でもマイナスとなった。このほか、パソコン本体やその周辺機器の売上が伸び悩んでいるが、背景としては、Windows XPのサポート終了に伴う駆け込み需要の反動減の影響が続いていることや、パソコンからタブレット端末等へと趨勢的に需要がシフトしていることが挙げられる。 【市場アナリスト】

# 飲食料品・百貨店・サービス販売の動向

スーパーの売上は、8月第2週では、前年比マイナスとなっている。

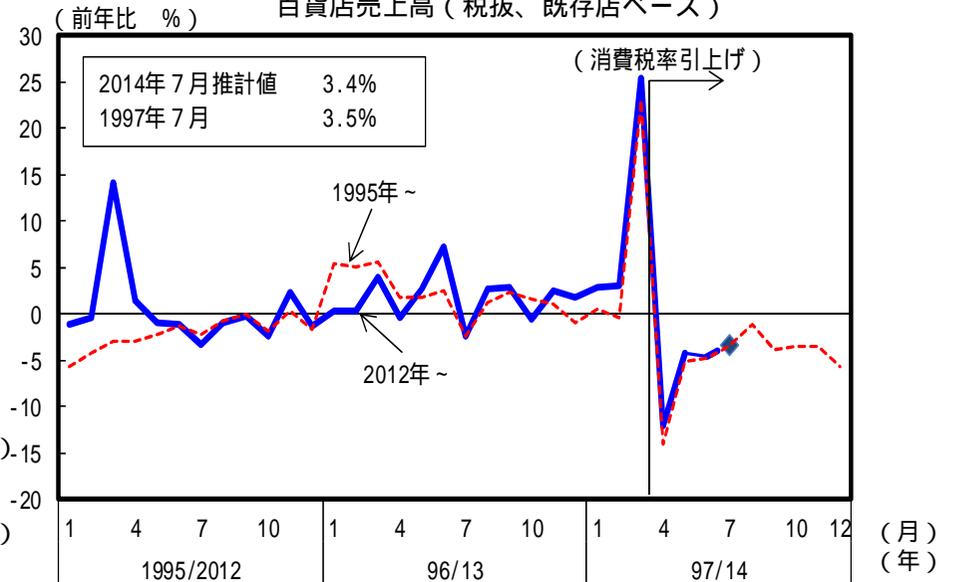
飲食料品（除く生鮮食品）販売金額（スーパー）（税抜）



(備考) 1. KSP (全国の食品スーパーマーケット販売実績を調査・集計) により作成。  
 2. 加工食品、飲料・酒類、菓子類の3品目の合計。税抜き価格ベース。  
 3. 既存店ベースのため、前年比が低めに出る傾向がある。  
 4. 7月第4週は、祝日の影響を取り除くため、7月14日～27日の2週間の前年比を算出している。  
 また、直近のデータは、速報値。

8月第2週の売上は、週末に上陸した台風の影響で、前年比減少となった。

百貨店売上高（税抜、既存店ベース）



(備考) 日本百貨店協会等により作成。2014年7月の値は、内閣府による推計値。

8月第2週の売上は前年比で微増。週末の台風で落ち込みは見られたものの、夏物商材をはじめとして売上は全体的に堅調だった。当社の顧客はシニア層が中心となっており、これらの層の購買が引き続き堅調となっている。  
**【食品スーパー A】**

サービス消費は、旅行については、6月はほぼ前年並みとなった。外食は、天候要因に左右されているものの、底堅く推移。

予約状況については、全体の傾向は先週から大きな変化はみられない。ボーナスの影響もみられ高額商品の売れ行きは好調であるものの、消費者の節約志向もうかがわれ、低価格商品は伸び悩んでいる。  
**【旅行会社 A】**

8月第2週の売上前年比は減少。関西地区を中心として、週末の台風による客足鈍化が影響したものと考えられる。高額商品については、4月から回復傾向だが、前年同期にはまだ届いていない。引き続き、外国人の売上が多い店舗では、比較的堅調に売上が推移している印象がある。  
**【百貨店 A】**

8月第2週は、台風の影響もあり、前年比減少幅が拡大した。増税前から引き続き、都市部にある主要店舗の方が郊外の店舗よりも相対的に堅調に推移する傾向の印象。  
**【百貨店 B】**